

長島大陸市場食堂が「全国お客様食事満足度」1位に！

長島町の観光振興のため、旅行代理店大手の株式会社阪急交通社（大阪市）と昨年10月に連携協定を締結し、役場内に同社の長島大陸支店を設けました。

地域“超”密着をテーマに同社スタッフと町内のかたがたが一緒になって、さまざまなツアーを考えています。

その結果、長島大陸市場食堂の「鱈王定食」を含むツアーが、2016年度の阪急交通社の国内全ツアーの中で食事満足度第1位（91.8%）となりました。

2017年度の長島町へのツアー客は現在2,500人。年間4,000人を見込んでいて、新しいツアーの商品化も進めています。



↑ 食事満足度1位となったツアー

地域おこし協力隊で商社を設立

地域おこし協力隊7人が出資して、長島未来企画合同会社を設立しました。

長島町の地方創生の取り組みを協力隊としての最長任期となる3年間経過後も、継続して活動できるようにするため、同社の設立となりました。

設立を期に、これまで以上に産業振興・観光・教育など、さまざまな分野で事業を進めていきます。



↑ 長島未来企画合同会社の出資者となった7人の協力隊

「地方創生～これから何をなすべきか～」を出版

地方創生に向けて全国で展開されている多彩な取り組みを幅広く紹介する書籍「地方創生～これから何をなすべきか～」が8月20日、株式会社創成社（東京都文京区）から出版されました。

このうち第12章は、本町の地域おこし協力隊の明石照久さんが執筆。長島町の地方創生に関する先進的な取り組みについて、主に地域おこし協力隊の活動現場における観察とインタビューなど、地域密着型のフィールド研究を通して得られた情報に基づく一編の論文として構成されています。

長島町の取り組み、そして、本町の地域おこし協力隊の特徴などが簡潔にまとめられていますので、興味のあるかたは、ご一読ください。



↑ 出版された書籍

○書籍の概要

編著者 橋本行史 関西大学大学院教授
A 5 版、256 頁、価格 2,700 円

空き不動産の悩みを解決

本町と株式会社川商ハウス（鹿児島市）、鹿児島相互信用金庫の3者が共同で「不動産なんでも相談会」を8月12日、町開発総合センターで開催しました。

当日は、10組15人が来場され、貸したい・借りたい・売りたい・買いたい・壊したいなど、さまざまな相談を受け、スタッフらが丁寧に対応していました。

今後は、長島の物件情報を集めたホームページを開設し、空き不動産（家、土地）の情報を発信していきます。

空き不動産の活用悩んでいるかたはご連絡ください。個別に訪問、相談に応じます。



↑ 今回の相談会を実施したスタッフたち

◎問い合わせ先

地域おこし協力隊 益田啓光 ☎ 090 (9722) 4696
E-mail: hiromitsu0305@gmail.com

探求型キャリア教育プログラム「SOCIAL CHANGE」を開催

8月21日と22日の2日間、長島大陸Nセンターは株式会社教育と探求社（東京都）と提携して、長島町内の中学生、高校生を対象にした探求型キャリア教育プログラム「SOCIAL CHANGE in NAGASHIMA」を開催しました。

2日間で中高生19人が参加し、「困っている人を探す・笑顔にする」を課題としたワークショップに参加したり、町内の事業者さんらの仕事の魅力を聞いたりしました。

最後の発表会では、参加した中高生らが考えた「困っている人を笑顔にする」アイデアが披露されました。



↑ ワークショップに参加する中高生

ティルプス「TIRPSE」の田村浩二シェフが食材視察

8月27日、「TIRPSE」（東京都港区）の田村浩二シェフが長島町を訪問し、町内の生産者と交流を図りました。

同店は「世界のベストレストラン50」に選出されるなど、日本を代表するレストランのひとつです。同シェフは、石元淳平醸造（白瀬）の「COCOROMISO」や、濱村修二さん（薄井）、長元翼さん（同）らが生産する「むじよかさば」などを視察し、その生産環境や品質の高さに驚いていました。

今回視察した食材は、10月24日に出水市内で実施される催し「ガストロノミーラボ O-GiLi（オーギリ）」で使用される予定です。

長島町の食材やVR（ヴァーチャルリアリティ）を取り入れた料理を、同シェフに披露してもらいます。興味のあるかたは次のURLをご覧ください。



↑ 食材の確認をする田村シェフ

○ガストロノミーラボ O-GiLi（オーギリ）

<http://nagashima-kikaku.com/o-gili/>